

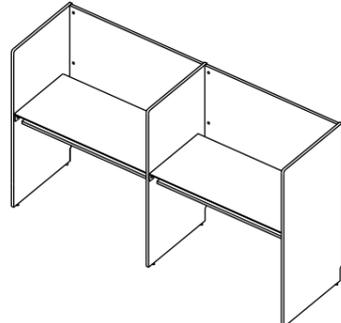
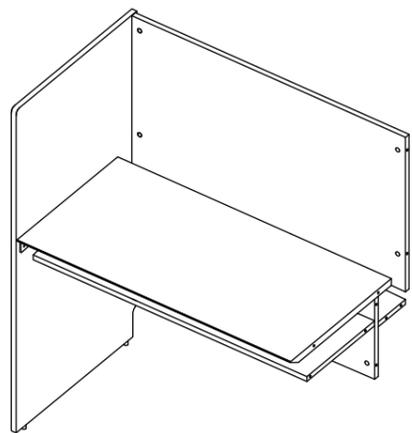
# RFPC ブース 増連 組立説明書

RFPCB-8060 (1060) ADNA (DB)

30min  
組立の目安

組立て方がわからない?  
お手入れに困ったら?

アールエフヤマカワ FAQ 検索



W800 は 1 つの梱包です。  
W1000 は 2 つに分けて梱包されています。  
梱包 1: RFPCB-1060ADNA (DB)-1 / 梱包 2: RFPCB-1060ADNA (DB)-2

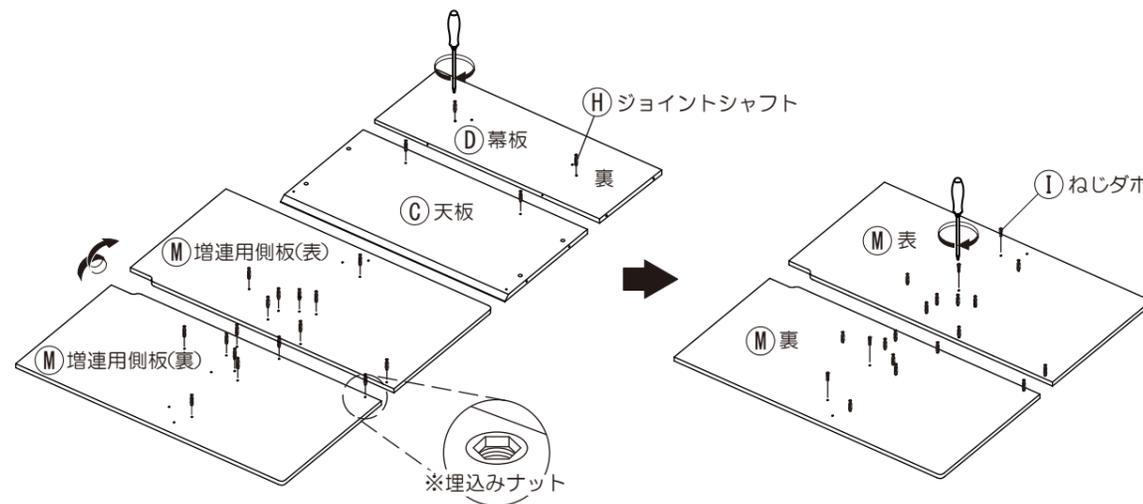
本組み立て説明書では、左側からの増連を例として取り上げていますが、右側からの増連も可能です。また、W800 と W1000 同士でも増連して頂けます。

**部材一覧** ※部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

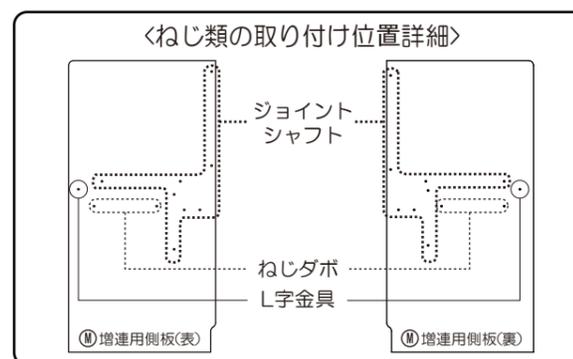
<p>① 右側板 × 1</p> <p>基本梱包 1</p>	<p>② 左側板 × 1</p> <p>基本梱包 1</p>	<p>③ 天板 × 1</p> <p>前 後 梱包 2</p>	<p>④ 幕板 × 1</p> <p>上 下 梱包 2</p>	<p>⑤ 配線受け × 1</p> <p>前 後 梱包 2</p>
<p>⑥ 背板 × 1</p> <p>上 下 梱包 2</p>	<p>⑦ 棚板 × 1</p> <p>エッジが貼られていない方が後ろです。 前 後 梱包 2</p>	<p>⑧ ジョイントシャフト × 20</p> <p>梱包 2</p>	<p>⑨ ねじダボ × 4</p> <p>梱包 2</p>	<p>⑩ L字金具 × 2</p> <p>梱包 2</p>
<p>⑪ 十字穴付きトラスねじ (M6 × 12) × 4</p> <p>梱包 2</p>	<p>⑫ カムロックキャップ × 4</p> <p>梱包 2</p>	<p>⑬ 増連用側板 × 1</p> <p>前 後 梱包 1</p>		

## 増連準備 1 (左側に増連する場合)

1 <ねじ類の取り付け位置詳細>を参考に、(M)増連用側板(表・裏)・(C)天板・(D)幕板にすべての(H)ジョイントシャフトを回し入れてください。そして、(M)増連用側板(表・裏)にすべての(I)ねじダボを回し入れてください。  
※ ねじ類取り付け部分にはナットが埋め込まれています。



これらの板は後ほど使いますので、床に寝かせたまま置いておいてください。



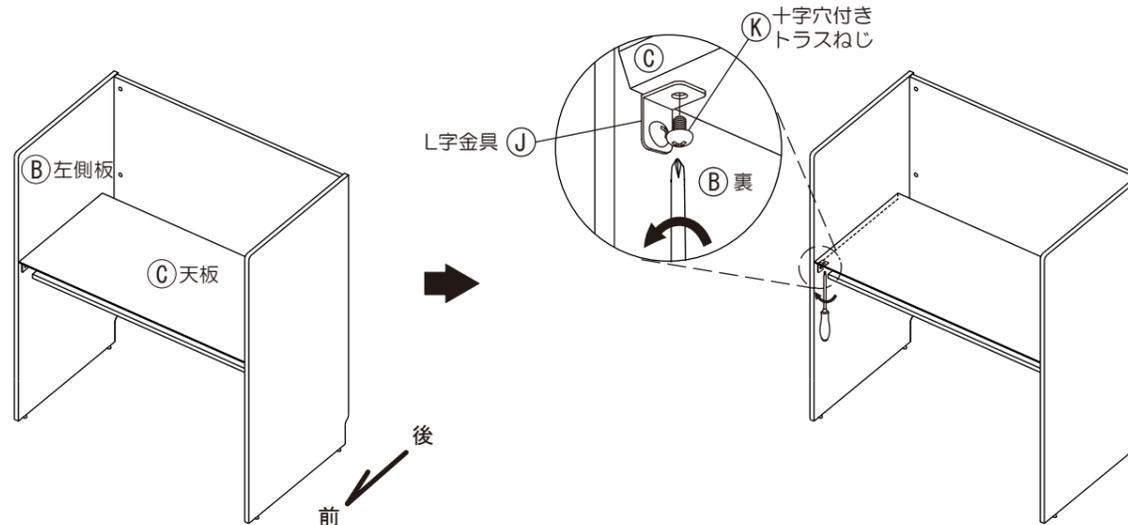
### ジョイントシャフト取り付け上の注意

✗ 締め付け過ぎ ✗ 締め付け不足

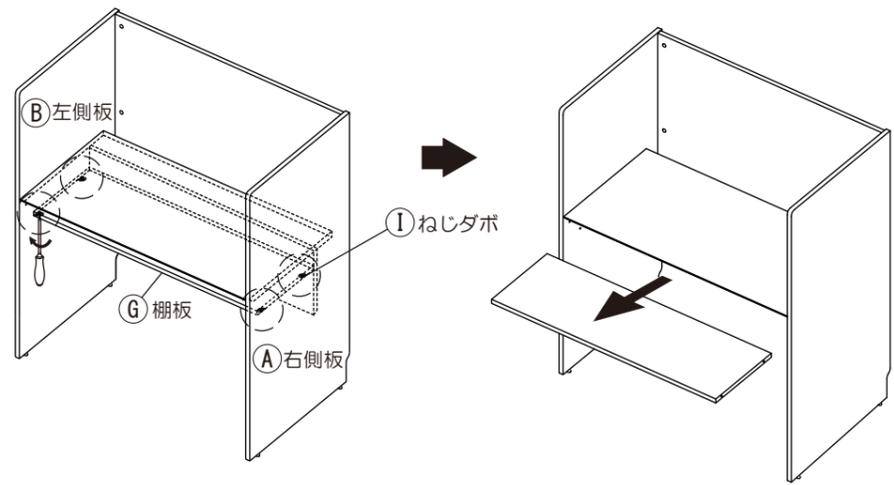
ジョイントシャフトの胴体部分が板面にぴったりと着くまで回し入れてください。それ以上回すと、破損する恐れがあります。

[別紙「カムロックの正しい締結方法」を参照してください。]

2 増連する基本RFPCブース(別売)の左側板を取り外します。(B)左側板と(C)天板に取り付けてある(J)L字金具を(K)十字穴付きトラスねじを緩めて取り外してください。

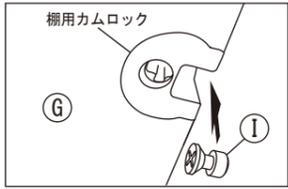


- 3 ⑥ 棚板を取り外します。〈棚板の取り外し方法〉を参考に棚用カムロックを緩め  
 ① ねじダボから取り外します。

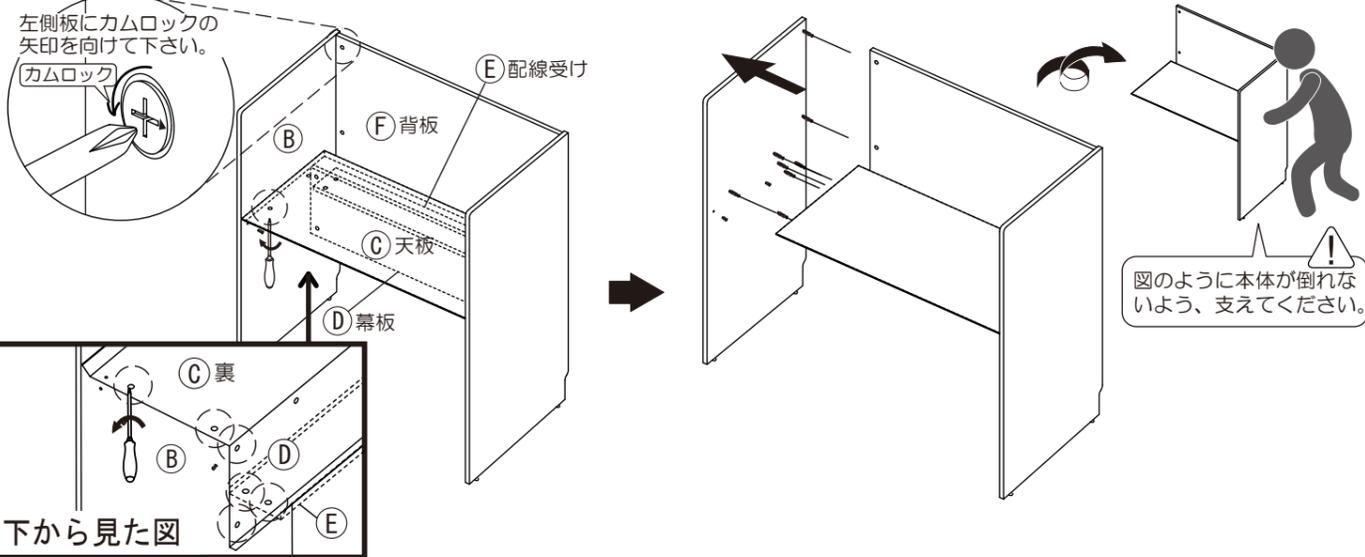


〈棚板の取り外し方法〉

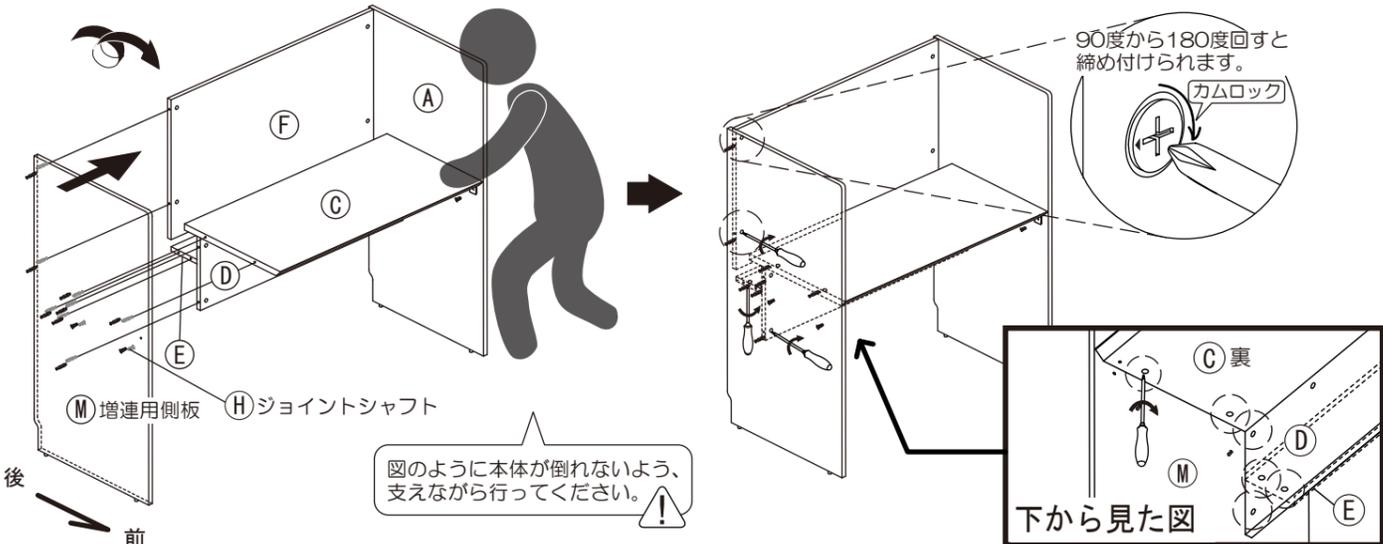
- ① 図のようにプラスドライバーを差し込み、反時計回りで90度~180度の範囲で緩めてください。  
 90度~180度回すと緩みます。
- ② ⑥ 棚板を持ち上げ、棚用カムロックを① ねじダボから取り外してください。



- 4 ③ 天板・④ 幕板・⑤ 配線受け・⑥ 背板の左側のカムロックを緩めて、② 左側板を取り外してください。  
 取り外した② 左側板は 増連準備2 の 8 で使いますので、布を引いた床にねかせて置いておいてください。

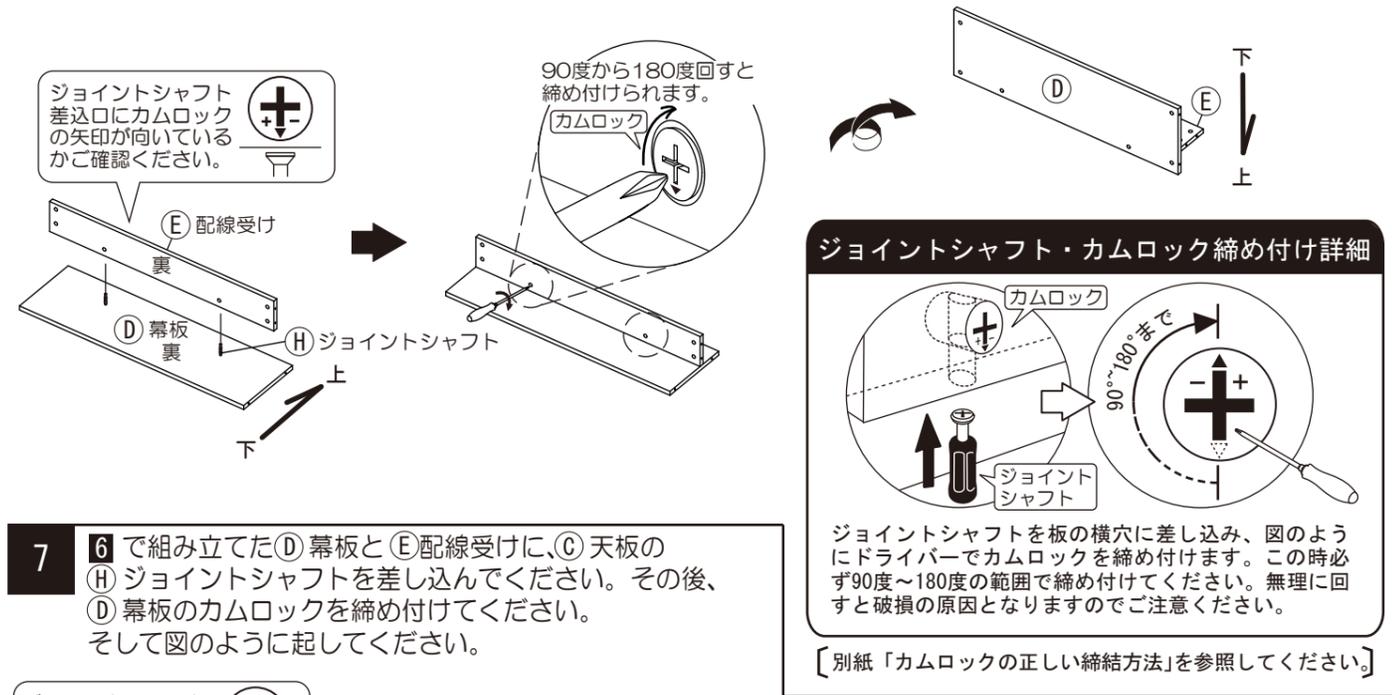


- 5 ④ で② 左側板を取り外した本体に⑦ 増連用側板を取り付けます。⑦ 増連用側板(表)の⑧ ジョイントシャフトを、基本RFPCブースの③ 天板・④ 幕板・⑤ 配線受け・⑥ 背板に差し込んでください。その後、③ 天板・④ 幕板・⑤ 配線受け・⑥ 背板のカムロックを締め付けてください。これで 増連準備1 は完了です。

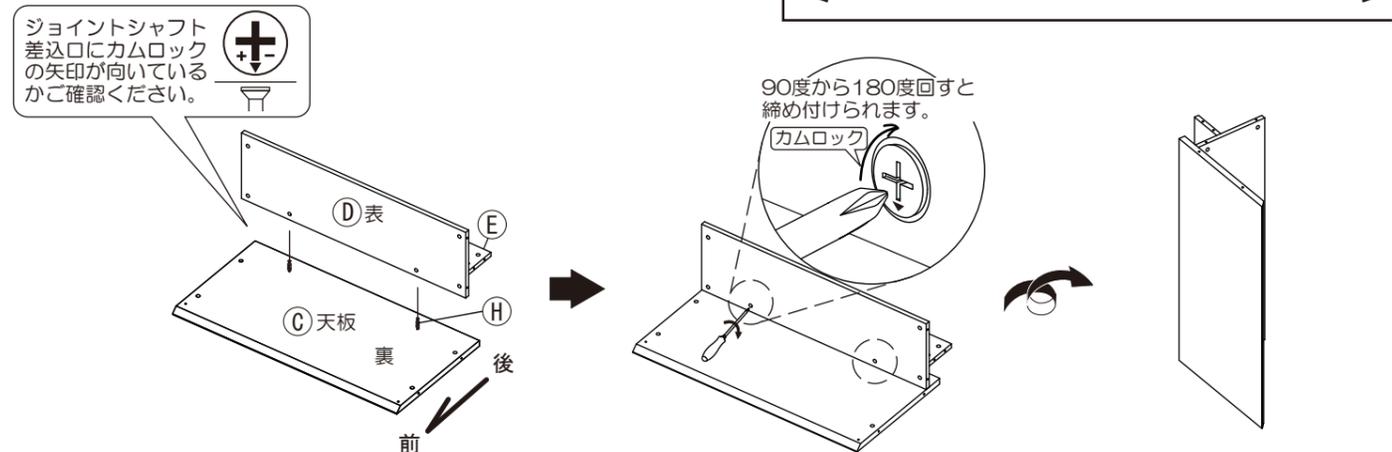


増連準備2 (左側に増連する場合)

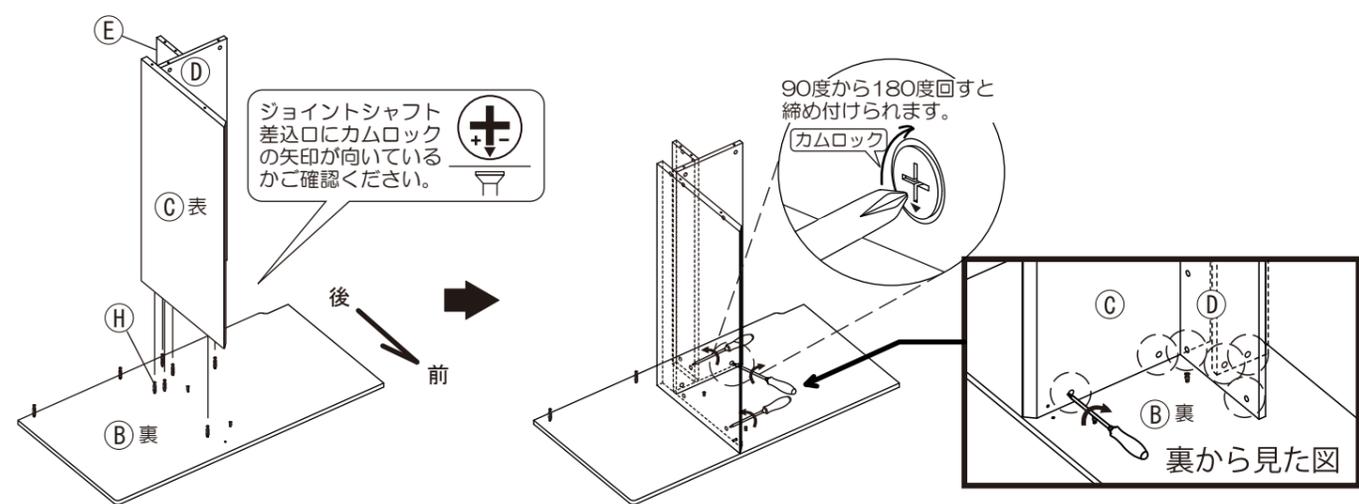
- 6 ④ 幕板の⑨ ジョイントシャフトを、⑤ 配線受けに差し込んでください。その後、⑤ 配線受けのカムロックを締め付けてください。そして図のように起してください。



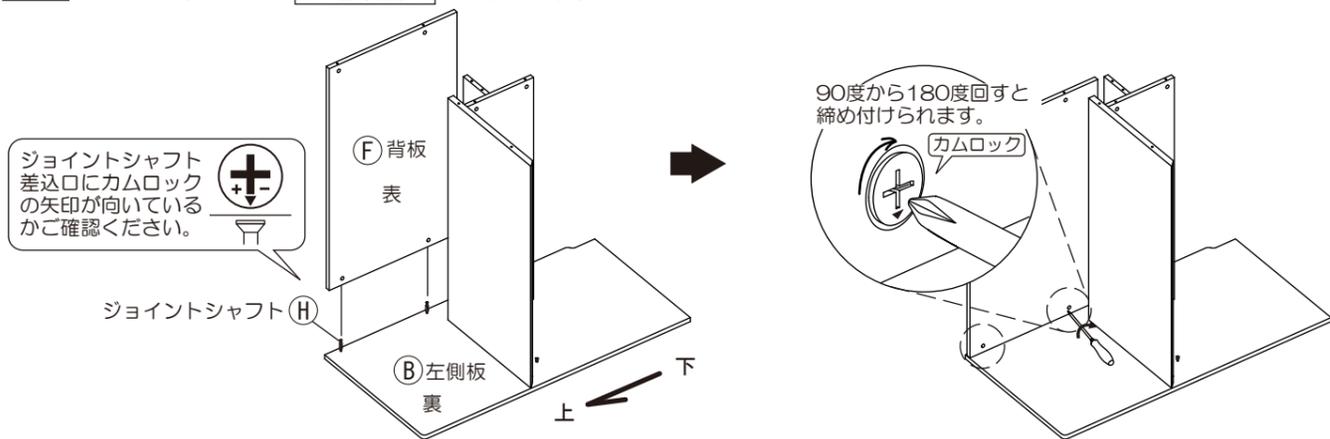
- 7 ⑥ で組み立てた④ 幕板と⑤ 配線受けに、③ 天板の⑧ ジョイントシャフトを差し込んでください。その後、④ 幕板のカムロックを締め付けてください。そして図のように起してください。



- 8 ⑦ で組み立てたものに、増連準備1 の 4 で取り外した② 左側板の⑧ ジョイントシャフトを差し込んでください。その後、③ 天板・④ 幕板・⑤ 配線受けのカムロックを締め付けてください。

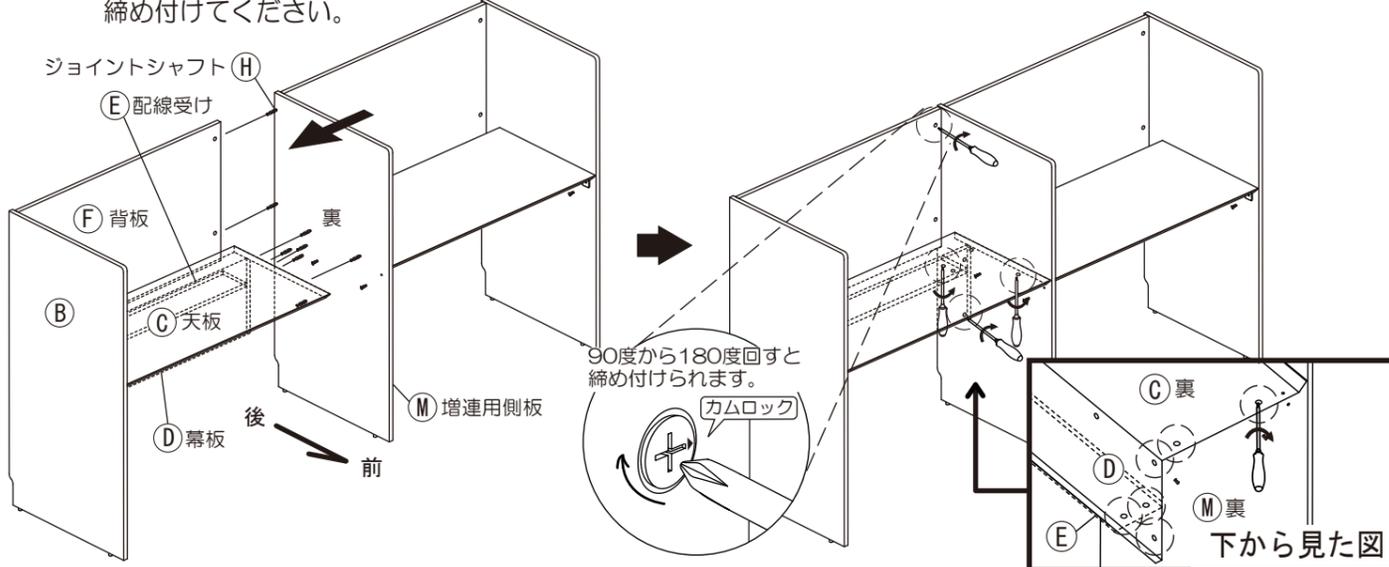


9 ⑤背板を②左側板の④ジョイントシャフトに差し込んでください。その後、⑤背板のカムロックを締め付けてください。これで「増連準備2」は完了です。

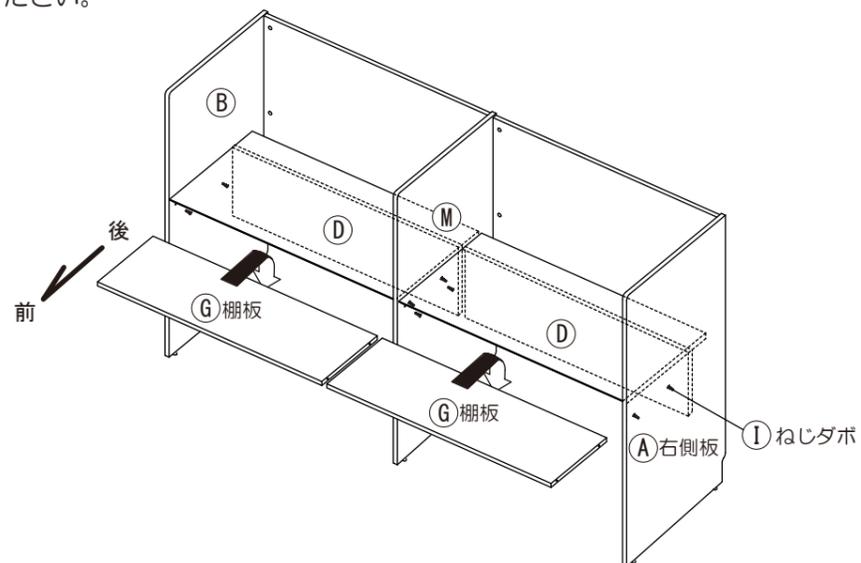


## 増連方法 (左側に増連する場合)

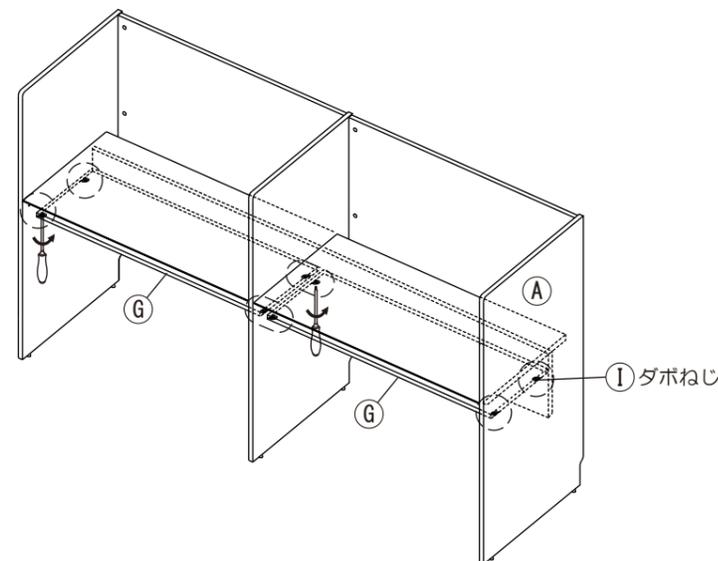
10 「増連準備2」の9で組み立てたものを2人以上で起し、「増連準備1」の5で組み立てた本体の⑩増連用側板(裏)の④ジョイントシャフトを差し込んでください。その後、③天板・④幕板・⑤配線受け・⑤背板のカムロックを締め付けてください。



11 ①右側板・②左側板・⑩増連用側板(表&裏)に取り付けた①ねじダボに、⑥棚板の棚用カムロックがかみ合うようにのせてください。



12 <棚板の取り付け方法>を参考に、⑥棚板の棚用カムロックを締め付けてください。



### <棚板の取り付け方法>

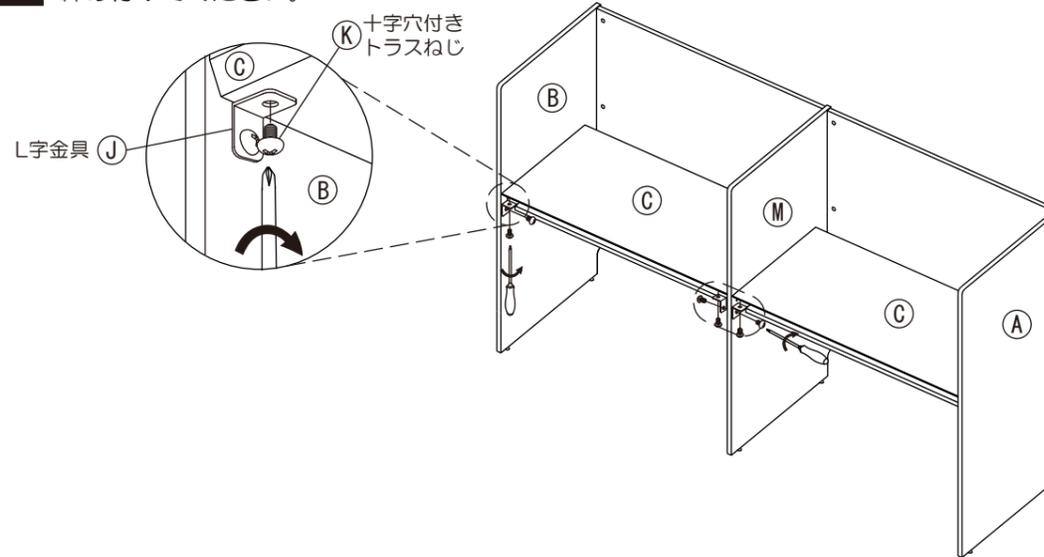
① ⑥棚板の棚用カムロックに①ねじダボをしっかりと差し込んでください。



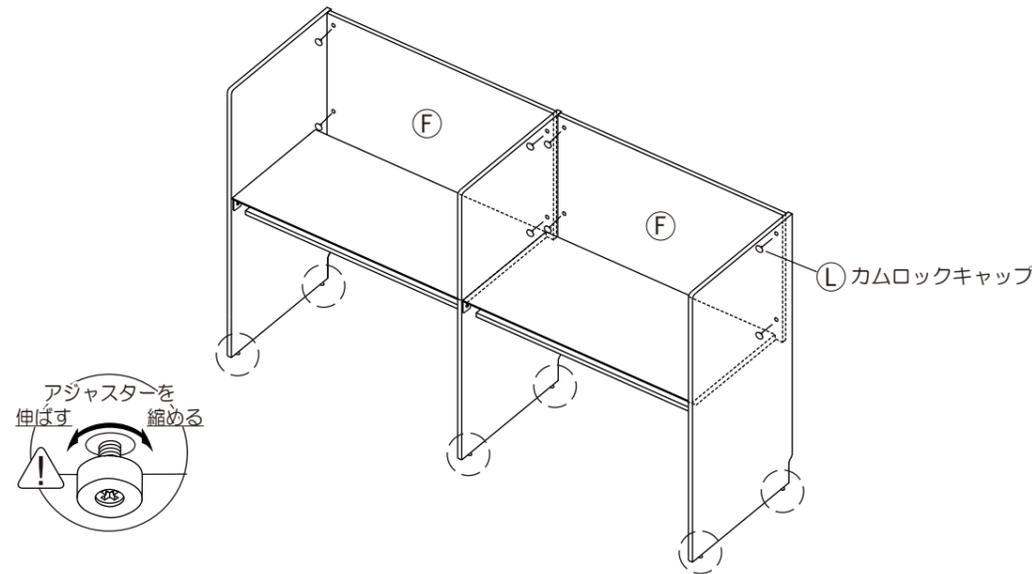
② 図のようにプラスドライバーを差し込み、90度~180度の範囲で締め付けてください



13 ②左側板・③天板・⑩増連用側板(表&裏)に④L字金具を取り付けます。④十字穴付きトラスねじでしっかりと締め付けてください。



14 最後に、④カムロックキャップを⑤背板のカムロックにはめて完成です。床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。

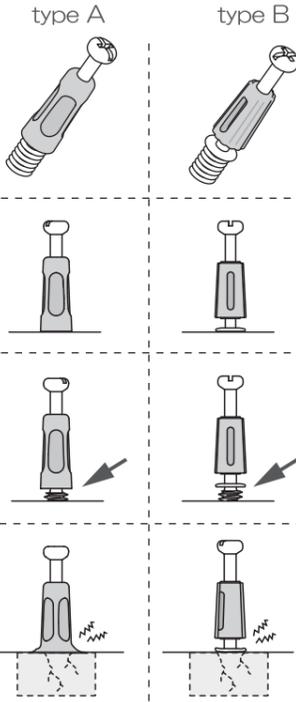
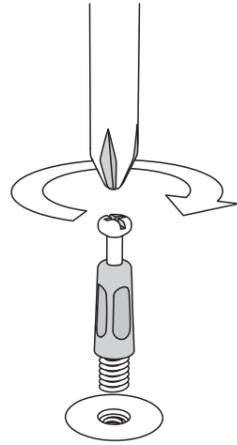


# 重要 カムロックの正しい締結方法

安全に作業を進める上で重要な注意事項が記載されています。必ず最後までお読み下さい。

## 1. ジョイントシャフトのねじ込みと固定

ドライバーを使用して、ジョイントシャフトを板面に固定します。



ジョイントシャフトは、生産の状況により typeA か typeB のいずれかの仕様となります。(機能上の品質に違いはございません) お客様の商品に同梱のものを確認のうえ、下記に示す取り付け方法をご参照下さい。

適切に取り付けられている  
ボルト部分が完全に隠れた状態になります。

最後まで締まっていない  
抜けや歪みの原因となります。

締めすぎ  
ジョイントシャフトや板内部のナットが破損する恐れがあります。

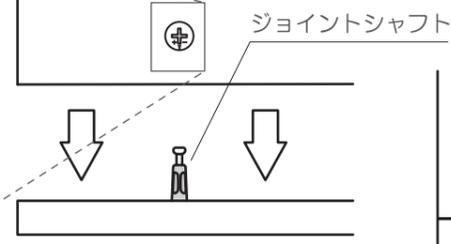
## 2. ジョイントシャフトの挿入

カムロックには印が付いています。



この印がジョイントシャフト側に来るようにしてください。

取付ける板面を平行に持ち、垂直に差し込みます。

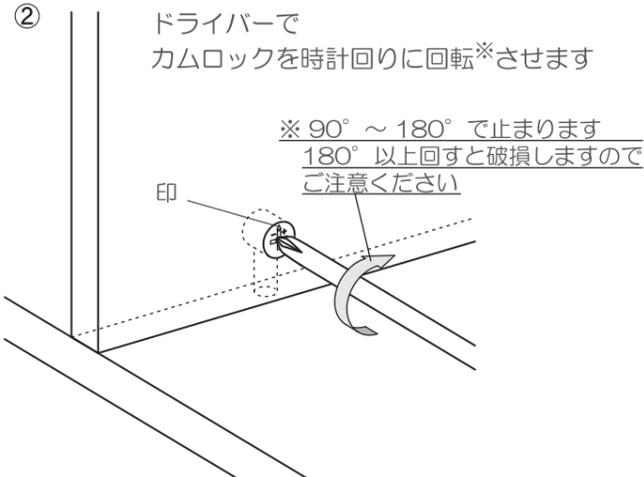
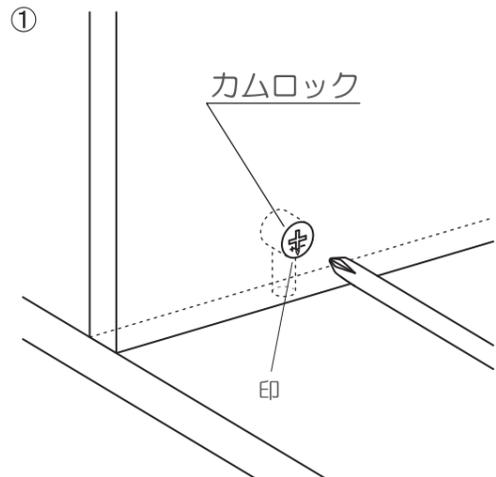


隙間が無い



隙間が空いている

## 3. ジョイントシャフトのロック (カムロック)



ドライバーでカムロックを時計回りに回転※させます

※ 90° ~ 180° で止まります  
180° 以上回すと破損しますのでご注意ください

## 取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。またお読みになった後は、大切に保管してください。

### 安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。破損の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたりにしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する可能性があります。
- 商品を移動させる際には、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。

### 使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損する事があります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲水をこぼした場合は放置せずすみやかに拭き取ってください。

### お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。
- ◆シンナー、アルコール等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組立て方がわからない?お手入れに困ったら?

アールエフヤマカワ FAQ 検索



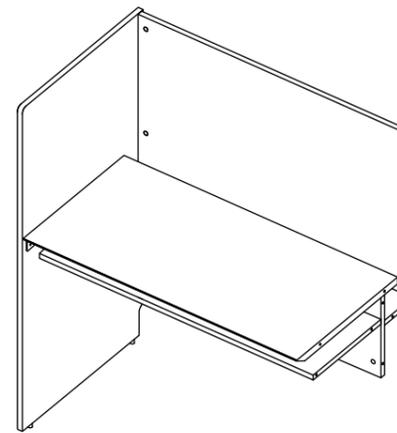
### 品質表示

外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
RFPCB-8060ADNA (DB)	818	600	1200
RFPCB-1060ADNA (DB)	1018	600	1200
耐荷重	天板 約 40kg (均等荷重)		
材質	甲板の表面材 合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)		
アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208			

## 商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身での製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。



### チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- 本体に破損や変色・変形は見当たらないか  
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- カムロックは正常に締結しているか  
…別項「カムロックの正しい締結方法」をご参照ください。
- 天板・側板・背板などに隙間はないか  
…カムロックとジョイントシャフトが正常に締結されているかをご確認ください。
- 完成図との相違は見当たらないか  
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。  
ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く) AM9:00~PM5:00 アール・エフ・ヤマカワ株式会社 お客様相談室	☎0120-204-208 FAX 059-256-5333
申込番号	
品名	RFPC ブース 増連
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	

RFPCB-8060 (1060) ADNA (DB)

<品質表示>

1. 外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
RFPCB-8060ADNA (DB)	818	600	1200
RFPCB-1060ADNA (DB)	1018	600	1200

2. 材質  
甲板の表面材 合成樹脂化粧パーティクルボード  
(メラミン樹脂)

3. 取扱い上の注意  
▲直射日光・暖房器具などの高温を避けてください。  
▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。

アール・エフ・ヤマカワ株式会社 月曜日-金曜日(祝日を除く)AM9:00~PM5:00

お客様相談室

☎0120-204-208

20150708 MADE IN CHINA